

団体名:正色学区生活安全委員会

活動名:かつての漁師町・歴史のあるまち

“下之一色町”をもっと魅力あるまちに！

日時:令和3年 11月23日(火) 13時30分 ~ 16時30分  
場所:正色コミュニティーセンター

### ◆◆団体の紹介◆◆



名古屋市中川区下之一色町（正色学区）はかつての漁師町で、昭和初期には最盛期を迎えました。伊勢湾台風を機に漁業権を放棄した後は、賑わいは徐々に失われ、高齢化が進み、子どもの数も減少しています。そのような状況下、学区の魅力を向上させ、学区居住者が安心して暮らせるまちをつかっていく事を目的として、2019年4月に会を発足させました。

### ◆◆活動の内容◆◆

江戸時代から続く漁師町だった下之一色町。は昭和の時代から開業していた魚市場が、令和3年3月13日をもって閉鎖されました。魚市場が存在していたことで、下之一色が漁師町だった事を想像することが出来ましたが、今ではそれもできなくなってしまいました。さらに新川堤防の耐震補強工事によって橋ができたことにより、まちの形相は一変しています。今回は元漁師の方や、下之一色の魚市場の方から昔の正色が魚場が盛んな時期の話を知る為に、子供を中心にイベントが開催されることになりました。



①漁師さんのお話を聞こう：名古屋市教育委員会から借りたの昭和感たっぷりの映像を、会場に集まった小さなお子さんから、当時を体験された年配の方まで、みんなで視聴。漁の実際の方法や、当時の漁場の説明や、船の写真など懐かしい思い出話をはさみながら進んでいきました。



②魚市場の方のお話を聞こう：知っているようで知らない魚市場での港に魚が運ばれてからの仕事内容や当時の競りの様子や人々の賑わう様子などが昨日のここのように語られ、分かりやすい丁寧な解説でした。途中、飛び入りで話し出す元漁師の方や親戚の方が現われて、仲の良さが伝わる雑談が始まったり、いかに皆さんが楽しくお仕事をされていたかがよくわかりました。



③下之一色の食文化を知ろう：地域の料理「うめご」の作り方を地元の料理人の方が説明して実食をしました。

今回は、自分達が住んでるまちで、昔は漁業が盛んで、魚市場まであったという事実を知る事ができ、子どもから大人までも勉強になり、より地域に愛着が湧いたイベントとなったと思います。